

われら熟年 フェーズ

(1999~2013)

男性ボランティア会議設立20周年記念誌



平成25年11月

男性ボランティア会議

— 目次 —

■ 特別寄稿	
「男性ボランティア会議」設立 20 周年を祝して	
多摩ボランティア・市民活動支援センター	
センター長 大久保 雅司	3
■ ご挨拶	
男性ボランティア会議 20 周年を迎えて	
代表 鈴木 幸夫	4
■ 会員近影・会員一覧	5
■ 会員のことば	
素晴らしい仲間へ感謝	和泉 弥須雄 6
努力と自信について	田中 三郎 8
一笑一若	大手 章吾 9
第 2 の人生の育ての親	福島 正良 10
少年野球指導をして 27 年	西村 吉朗 11
男ボラと共に	瀬野 克義 12
無題	藤森 正法 13
さだまさしの「奇跡」	上杉 雅好 14
■ 20 年の歩み	16
「だんぼら」事始め	16
「だんぼら」揺籃期	16
いよいよ本格的に	17
そして 10 年	18
■ 最近 10 年間の活動状況	
車いすの体験学習	20
昔あそびなど世代間の交流	23

つくし作業所支援（よろず大作戦）	28
障がい者・高齢者介助支援	30
自主研修および介助用テキスト作成	30
広報活動	30
レクレーション・親睦行事	30
竹教室	31

(コラム)

車いすボランティア育成事業の問題	瀬野 克義	20
多摩センターこどもまつり雑感	大久保 光三	24
よろず大作戦顛末記	長瀬 敏雄	28
悠々隊の活動	嶋田 佳剛	31

■ 資料

テーマ別活動記録詳細	32
------------	----

■ 編集を終えて

板東 正條	37
-------	----

挿入写真・カット

都社会福祉大会表彰(H16)	7
パソコン手相診断(H16)	8
児童からのメッセージ(H18)	9, 10
悠々隊スナップ(H24)	15
われら熟年表紙(H11, 16, 25)	37

(表紙デザイン)

題字	(会員) 上杉 雅好
水墨画 (秀作水墨画より転載)	木村 友禧

「男性ボランティア会議」設立20周年を祝して

社会福祉法人多摩市社会福祉協議会
多摩ボランティア・市民活動支援センター
(旧多摩ボランティアセンター)

センター長 大久保 雅司

男性ボランティア会議が設立20周年を迎えましたことに、心からお祝い申し上げます。「男性だけの、男性でもできる、そして男性にしかできない、ボランティア活動により、障がい者、高齢者がともに安心して住める福祉社会の構築に寄与する」を信条に、今日までの長きにわたり、「障がい者疑似体験学習」を通じて障がいへの理解を深めたり、「昔遊びの伝承」を行うなど、地域社会に貢献する活動を続けてこられましたことは、会員の皆さま方のご努力の賜物であると、心から敬意と感謝の意を表する次第でございます。

私たちを取り巻く環境は、少子・高齢化や周辺住民との人間関係の希薄化、雇用環境の変化などにより、「社会的孤立」「低所得」「権利擁護」「犯罪防止の抑止力低下」「災害時の要援護者支援」の問題など、個別・多様化し、既存の社会福祉の制度・施策だけでは対応できない問題が広がっています。行政サービスだけではなく、地域に暮らす皆さまの力や、ボランティア活動に対する期待がますます高まっております。

このようなことから、多摩市社会福祉協議会といたしましても、これからの貴団体の活動に対して、一層のご活躍をご期待いたしております。また、多摩ボランティア・市民活動支援センターといたしましては、制度では対応できない諸問題の解決に向けて、努力していく所存でございますので、引き続き、ご理解、ご協力をいただき、福祉の向上にお力添えをいただきたいと思います。

最後になりますが、男性ボランティア会議のますますのご発展と、皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。

男性ボランティア会議 20 周年を迎えて

代表 鈴木幸夫

「私たちは、『ぬくもりのある福祉社会の創造』に向けて男性の叡智、経験、技術などをボランティア活動に生かしながら、さまざまな障がいを持つ人達、高齢世代を生きる人、あるいはボランティアに情熱を傾ける仲間たちと手を携え、共に安心して暮らせる地域社会を構築し、これらの発展に寄与していくことを信条として活動を続けます。」名称は「男性ボランティア会議」とする。（「男性ボランティア会議」活動綱領および会則から）

私たちは、この活動綱領のもとに、ボランティアサロン等でボランティア活動の心と技術を学習し、高齢者施設の催事、養護学校、作業所等の社会見学教室、小中学校の「地域道徳教育講座」、「総合的学習の時間」、更に地域の企業、団体等対象の「車いす体験出前講座」、そして次世代交流のこども昔遊びの伝承、ひとときの和、その他地域防災訓練、まちおこしイベント、自主企画「車いすで街に出かけよう」等に取り組み、常に地域が求める活動に積極的に参加する、など多彩な活動を続けて今年 20 周年を迎えることができました。

これはひとえに、私たちの活動に関わった社会福祉協議会、ボランティア・市民活動支援センター、福祉団体をはじめ、連携・協力頂いたボランティア団体等の多くの皆様のご指導、ご支援の賜物であり、深く感謝し、厚くお礼申しあげます。

私たちは、男性の経験、知識を生かし、多面に亘る活動を展開して、地域のさまざまな人と出会い、ふれあい、語り合っ、ベストを尽くし、活動の中から元気を貰っています。しかし、男性ボランティア会議の揺籃期といえる平成 10 年から 15 年へかけて入会した人たちが中心となって活躍してきましたが、今では年齢も 70 歳後半もしくは 80 歳代となっており、会員 19 名の平均年齢は後期高齢者です。私たちは今、地域のボランティア活動に関心のある仲間を求めています。シニアのボランティア活動は、会社人間時代と異なる新しいもうひとりの自分を発見すると思います。

私たちの今までのボランティア活動が地域に生きていることを確信し、活動を続け、地域の健康人でありたいと思います。

“シニアのボランティア活動は人を元気にする。地域を元気にする。”

會員近影



會員一覽

平成 25 年 11 月現在

(現会員)

和泉 弥須雄	H 0 6 . 0 4 ~	長瀬 敏雄	H 1 4 . 0 1 ~
大手 章吾	H 0 6 . 0 4 ~	大久保 光三	H 1 4 . 1 2 ~
田中 三郎	H 0 6 . 0 4 ~	嶋田 佳剛	H 1 5 . 0 2 ~
田中 貞一郎	H 0 6 . 0 4 ~	富本 秀俊	H 1 5 . 0 3 ~
鈴木 幸夫	H 0 9 . 0 5 ~	平林 徹	H 1 6 . 0 7 ~
西村 吉朗	H 1 0 . 0 4 ~	瀬野 克義	H 1 7 . 1 2 ~
福島 正良	H 1 0 . 0 4 ~	中島 文久	H 1 9 . 1 1 ~
平口 修	H 1 1 . 0 6 ~	藤森 正法	H 2 0 . 0 4 ~
寺澤 重	H 1 1 . 0 6 ~	上杉 雅好	H 2 2 . 0 8 ~
板東 正條	H 1 2 . 0 9 ~		

(物故者)

笠原 俊一	H 1 1 ~ H 2 0	丸山 卓朗	H 1 4 ~ H 2 4
-------	---------------	-------	---------------